



豊岡中学校

# 同窓会々報

第39号

## 「努力とは」

会長 杉浦 美充（30回生）

第72回生の皆さん、卒業おめでとう。今年も新たに146名の同窓生が入会されますこと、心より歓迎いたします。また、関係者の方々におかれましては日頃より多大なるご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度から続くコロナウイルスとの戦い。今年度の卒業生達も、1年間の内多くの期間が緊急事態宣言中での生活でした。

昨年はコロナウイルス感染拡大の中、賛否両論ありましたが「東京オリンピック・パラリンピック」が開催され、日本はメダルラッシュの大会となりましたが、いまひとつ盛り上がりには欠けた大会でした。とにかく、無事に終わることが出来てよかったと思っております。昨年秋、感染者は激減しましたが、昨年末よりまた新しい変異株が出現し、物凄い速さで感染が拡大しています。まだまだ油断は禁物です。

それより、このコロナや東京オリパラを吹き飛ばす話題がありました。豊岡中学野球部 OB としては触れずにはいられない話題。そう、それはメジャーリーグ大谷翔平選手の活躍です。見事にア・リーグの年間 MVP を受賞し、他のタイトルも加え全11冠です。（令和3年11月末現在）大谷選手は、高校1年生の時に「マンガラチャート」という目標表を作り、目標達成のためにはどうすればよいか？と、常に考え実行してきたそうです。その中に、「27歳でメジャーリーグの MVP を取る」という文言があったそうです。この目標を掲げた時周りの人は、「そんなこと無理」と思った人も少なくないと思います。昨年の大谷選手27歳の活躍は皆さんご承知の通りです。

以前にもこの場で書かせていただいたことがありますが、中学時代の恩師にいただいた言葉を皆さんにも贈りたいと思います。それは、「努力とは、いかなる時も全力を出し切れることである！」という言葉です。後から悔やむような力しか発揮できなかったのは、それは努力が足りなかったということです。中学を卒業し、それぞれ違った道に進んでも、一つでも二つでも上の目標を掲げ、それに向かい努力していくことが大切です。いかなる時も全力が出し切れるよう精進され、今後益々の活躍を期待しております。

## 出会い

豊岡中学校長 山内 潤次

別れの春を迎えました。日常が変わり、さまざまな制限に苦しむ2年間を乗り越えてきた3年生146名が、このたび晴れて豊岡中学校同窓会に入会させていただくこととなります。

平成31年4月、私は3年生の入学とともに本校へ着任しました。入学式で、この子たちとともに豊岡中を築いていこうと思ったことがよみがえります。それが、今の3年生との出会いでした。

3年生へ

優しい子が多かった。仲のよい学年だった。よく考え、堂々と話せる子がたくさんいた。時に友ともめて涙する子もいた。そんなとき手を差し伸べる子もいてくれた。いろいろなことが思い出されます。

私自身、3年生のみなさんと出会い、この苦難の日々をともに乗り越え、豊岡中を創り上げてきたことは宝物です。

詩人の相田みつをさんは「その時の出逢いがその人の人生を 根底から変えることがある」と書いています。これからのみなさんの人生、よい出会いをつかみ、輝く未来へ歩みを進めてください。

同窓生の皆様には、昨年につき、豊岡中学校の姿や3年生の活躍をご覧いただけませんでした。これからも旅立つ子どもたちを支え、励まし、見守っていただけましたら幸いです。

1年間、大変ありがとうございました。



【合唱コンクールで学年合唱をする3年生】

## 同窓生の声

### 『ふるさと・豊岡』に思う

第26回生 金子 明子

第72回生の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆様の中学校生活は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、今までにないさまざまな体験をすることになりました。たいへんなことも多かったと思いますが、皆様にとって対応力を育む貴重な時間になったと信じています。

私が入学した当時は岩田、岩西、多米の3小学校から進学し、1学年336名でした。どの部活動も熱心に行われ、私はバスケットボール部に所属していました。私たちは気迫あふれる先生方の厳しい指導のもと、日々心身ともに鍛えられました。限界を超えるような練習等により団結力も高まり、同学年だけでなく、先輩や後輩とも絆を強くしたように思います。そして、厳しさに耐え、乗り越えた自信は、今、心の強さにつながっています。その他、葦毛湿原の保護活動

が始まった頃でもありました。生徒会が中心となり、ゴミ拾いに行ったり野鳥のために巣箱を設置したりしました。「貴重な自然を守りたい」という思いで、何度も歩いて通いました。

成人式で先生方や友達に再会し、新たな交流が始まりました。空白の時間を少しも感じることなく、ともに過ごした日々が鮮明によみがえりました。改めて中学という多感な時期に、熱意をもって指導して下さった先生方や支え合った友達に出会えたことに感謝しています。私にとって『ふるさと・豊岡』で過ごした日々は宝物となっています。

その後、縁あって豊小学校で勤務する機会をいただきました。子どもたちとかかわる中で、さらにふるさとへの思いを強くしました。

時代は急速に変化しています。明日何が起きるか予測できないような混迷を深める時代とも言えます。皆様にとって、豊岡中学校での経験は、これから先の人生を切り拓く生きる土台となり、生き抜く力になっていくと思います。同窓生、関係の皆様方のご健勝と多幸を心よりお祈り申し上げます。



第26回生 「葦毛湿原の保護活動」「修学旅行」（卒業アルバムより）

★「同窓会報」は学校ホームページにて公開しています。個別の郵送はいたしません。よろしくお祈り申し上げます。

# 豊岡中学校同窓会



## 同窓会役員

会長	30回生	杉浦 美充
副会長	25回生	山内 壺仁
副会長	25回生	前川 明俊
副会長	33回生	中村 泰久
副会長	47回生	岩瀬 彰吾



## 第72回常任・学級委員

常任委員

4名

学級委員

8名



発行 豊岡中学校同窓会

〒440-0832 豊橋市中岩田一丁目5の2

TEL 0532-61-3278

FAX 0532-65-1201

## 新入会員の声

### 新しい人生への飛躍

第72回生 北村 幸余

私たち72回生、146人は豊岡中学校を卒業します。豊岡中学校で過ごした3年間は数多くの思い出や経験を得ることができ、人生の中で色濃いものとなりました。

3年前の4月、私たちは真新しい制服に身を包み入学式を迎えました。優しい先輩方や先生のおかげで不安や緊張感が徐々にほぐれていき、充実した学校生活を送れるようになっていきました。

体育祭では、クラスメイトとの絆を深め、一人一人が明るくたくましく輝いていました。合唱コンクールでは、先輩方の素晴らしい歌声に近づこうと必死に努力をしました。本番ではクラスメイトと心をつなげて、美しいハーモニーを奏でることができました。

部活動では、コロナ禍で練習時間が短い中、辛いときも苦しいときも仲間と共に励まし合いながら練習した日々が、みんなを大きく成長させたと思います。

また、コロナ禍だったからこそ、班給食や行事、マスクのない生活などの当たり前だった生活が、どれだけ大切に幸せだったかに気づくことができました。そんな中でも、共に助け合い、我慢をした仲間は一生の宝物となりました。

豊岡中学校を卒業し、新しい人生へ飛躍します。どんなに高い壁が立ちただかっても、豊岡中学校の仲間と助け合った日々を胸に、しっかりと前を向き、夢に向かって進んでいきます。

私たちは、これから同窓会の一員となります。どうぞよろしくをお願いします。